

校長の独り言 2

令和最初の5月（H31.5.7）

校舎正面から遠くに見える万葉公園の丘の頂上間に、赤や青、黒、金などの色とりどりの100匹ものこいのぼりが悠然と泳ぐ五月。平成から令和への歴史的な節目の年度がスタートして早くも一カ月余りが過ぎました。



10連休スタートの4月27日、快晴のもと、農場にて恒例の『緑の市』が開かれました。地域の方々が早朝7時過ぎから多く列をなし、開園の8時30分を待っておられ、各種野菜の苗やイチゴジャム・トマトジュース、草花鉢物、花壇苗を沢山購入して頂きました。昨年まで私も、毎年、客の一人として、朝早めに並んでジャムや苗を購入していました。

農場での農産物販売を目的として産業高校から継続して27年の歴史のあるこの『緑の市』は、秋の『翔陽祭』と合わせて、本校生徒の活動の様子を、保護者並びに地域の方々に理解していただくとともに、生徒の教科実習の一環として、生産から販売までの実践的な体験学習を通して、教育活動の効果を高めることを目的としています。

直に生徒が販売に携わり、購入して頂く地域の方々の笑顔に触れることで、日頃からの地道な取り組みがここにつながると実感でき、やりがいを感じてくれると確信しております。

特にうれしかったのは、生徒たちが大きな声で挨拶をするだけでなく、多くの苗を購入され持ち運びに苦勞されている年配の方に、生徒たちが率先して声をかけ、代わりに運んでいく姿が見られたことでした。

秋の『翔陽祭』は品数も増え、さらに盛大ですので、是非、是非、足をお運びください！！
生徒・教職員一同、お待ちしております！！

